

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 22日

(宛先)

埼玉県知事 大野元裕 殿

提出者

住 所 埼玉県鴻巣市宮地4-8-2

氏 名 株式会社キハラ

代表取締役 寺嶋教之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-541-6561

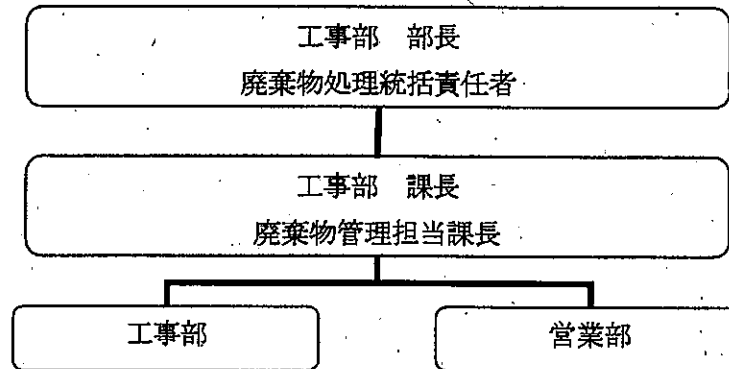
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社キハラ
事業場の所在地	埼玉県鴻巣市宮地4-8-20
計画期間	令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	2000万円
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	排出量	別紙2-1のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 型枠材で使用したコンクリートパネルや端材は処分せず再利用を行った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	排出量	別紙2-1のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理体制を強化するとともに、社員の意識改革により、産業廃棄物の発生抑制を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物分類の一覧表を作成し、徹底分別を行う。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 複数の種類が一体となっている産業廃棄物を分離し、産業廃棄物毎に分別することにより有価物とする。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙2-1のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

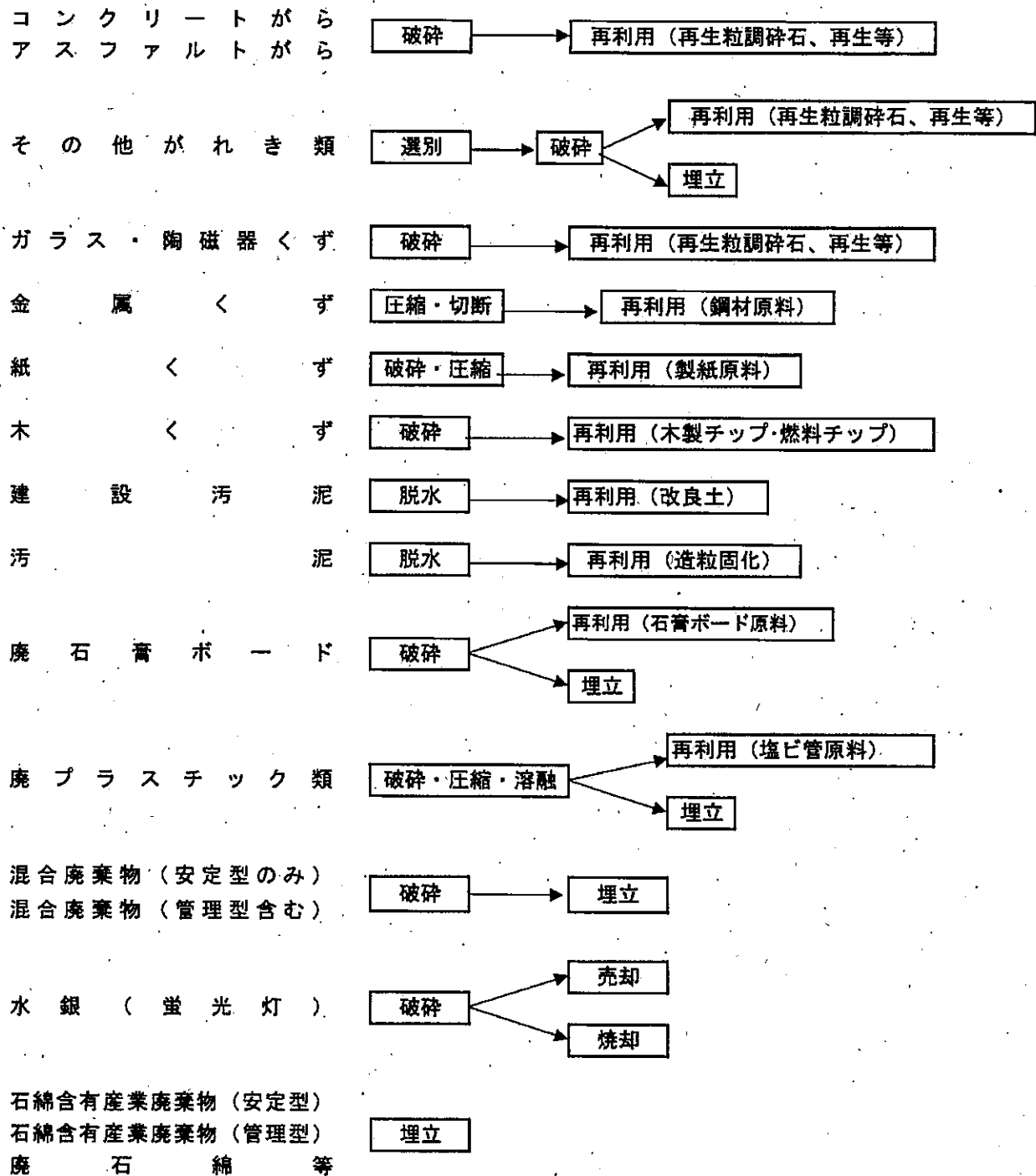
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-2のとおり	
	全処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の処理委託に関する社内ルールを設定し、適正処理を実施している。 ・委託した処分場を定期的に現地確認した。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-2のとおり	
	全処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2-2のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・出来るだけ優良認定処理業者を選定する。 ・社員に対し、委託業務に関する社内研修を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の一連の処理工程

以下、すべて委託業務となります。



令和4年度産業廃棄物処理計画書

(表)

産業廃棄物の種類	排出量 (t)		自己再生利用量 (t)		自己熱回収利用量 (t)		自己中間処理による減量量		自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量 (t)	
	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)
コンクリートガラ	337.4744	330.7	-	-	-	-	-	-	-	-
アスファルトガラ	4541.6	4500.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他がれき類	25.2	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス・陶磁器くず	4.5	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック類	10.98	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-
金属くず	3.455	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
混合 (安定型のみ)	2.44	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
石綿含有産業廃棄物	1.95	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
建設汚泥	21.5	21.0	-	-	-	-	-	-	-	-
汚泥	1.6005	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
紙くず	0.6	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
木くず	63.29	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-
焼石膏ボード	0.96	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-
混合 (管理型含む)	8.98	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-
水銀	0.073	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5024.6029	4924.4	-	-	-	-	-	-	-	-

4970.1

令和4年度産業廃棄物処理計画書

(表)

産業廃棄物の種類	全処理委託量 (t)		優良認定処理業者への 処理委託量 (t)		再生利用処理業者への 処理委託量 (t)		認定熱回収業者への 処理委託量 (t)		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (t)	
	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)	現状 (R4年度)	計画 (R5年度)
コンクリートガラ	337.4744	330.7	0.7844	33.1	337.4744	330.7	-	-	-	-
アスファルトガラ	4541.6	4500.0	0	450.0	4541.6	4500.0	-	-	-	-
その他がれき類	25.2	25.0	0	2.5	12.6	12.5	-	-	-	-
ガラス・陶磁器くず	4.5	4.0	0	0.4	2.25	2.0	-	-	-	-
廃プラスチック類	10.98	10.0	3.85	1.0	5.49	5.0	-	-	-	-
金属くず	3.455	3.0	3.455	3.0	3.455	3.0	-	-	-	-
混合 (安定型のみ)	2.44	2.0	0	0.2	0.0	0.0	-	-	-	-
石綿含有産業廃棄物	1.95	1.5	0.78	0.2	0.0	0.0	-	-	-	-
建設汚泥	21.5	21.0	0	2.1	21.5	21.0	-	-	-	-
汚泥	1.6005	1.5	0	0.2	1.6005	1.5	-	-	-	-
紙くず	0.6	0.5	0.6	0.1	0.6	0.5	-	-	-	-
木くず	63.29	62.0	0	6.2	63.29	62.0	-	-	-	-
廃石膏ボード	0.96	0.9	0	0.1	0.48	0.47	-	-	-	-
混合 (管理型含む)	8.98	8.0	2.08	0.8	0.0	0.0	-	-	-	-
水銀	0.073	0.0	0.073	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
合計	5024.6029	4970.1	11.6224	499.72	4990.4	4938.7	-	-	-	-

4970.1 / 4990.4 4938.7
 4990.4 4938.7
 4990.4 4938.7

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。